

切手事

寸法九寸五分 廣一尺四寸七分

奉授

今上白皇帝

和号

神而日能

依綸言  
上極新

延喜三年十月二十二日

紀量之上

重之重

身仁邪奈久

他耳慈平与

古手事

伊傳久志表涉於本余而  
炭路、々能人字見給傳





切多事

寸法九寸五分 廣一尺四寸七分

三代

奉授

今上皇帝

和号

神而日終

依編言  
上極高可

延喜三年十月二十二日

紀量之上

重之重

身仁邪奈久

他耳慈千与

古事

伊傳久志表法好本余る  
茂路、々終人字見給傳  
三多加良却作在路依、  
彼可欲利也、

ホノノ事

此方ニサシノ源家ニ口傳伝ハナリ也  
トモ貫之名ノ部ニ入リ之口ハナリ也  
ハトト也シ井テ今源ヲメツ天武天皇才  
一ノ皇子高市ノ皇子十九歳ニメ早シ  
ツカルヲトナシホノトクニ口ノ源アリ明君  
表向ナリ万葉ニツカクハナリ明トクニ夜  
ナトノアリルヲ云左傳明旦ト書テホノト  
ヨメリ若クホノトクニ春ノ早本ノモエツル  
時ナリ典義抄ニ早キ春也若クニト  
イリ壽風ニツカクニ道ニツカクニ文選  
云壽傳ニ公政得し道ト云リ文集ニ同  
ハリけ四ノ源内ハ今ノ方表ノ源ナリ王  
崩ニアヒナリ浦トハ世帯ツハナリ行  
密又物ヲハツルナト也一説ナリシ病  
申ツカクシ行トハ去行ナリ又世帯病死  
アツルコシ申ハ四ニカクサシ給舟  
王ニシテナリ王ハ帝ニツカクハカス  
ナリ自記以要之君如取臣如水ト云リ  
源トモアシトモ云及事

天地人ノ事



故トモアシトモ之及昔時多ク

三才名  
天地人ノ事ノ事

一久カクノアミメハトハ天上ノコトナリト照姫ハ  
 天稚彦ノ妻ナリアメワカヒコ崩ノ時長屋ヲ天  
 ニツクリテモカリスシタテルニメノセウト味報<sup>高</sup>  
 彦根ノ外トウラシトテ天ニホリテアリケル  
 ニツノ取ウルビクメニ岳トテ岳トノアヒタニ  
 照カヤクヲミテト照姫トク人ニシラセトテ  
 方ヨミメ曰阿妹奈奈居夜トタタノウチカセル  
 ノメニノミスルノアナクニハミタニフクワラヌアキ  
 スキタカヒコ子返方曰アサカルヒナメノイワタ  
 ラスセイイシカハカタフキカタフキアヒリワタ  
 シメヨシニヨシヨリコイシカカタフキ けり<sup>中</sup>  
 一地ニメノ方ノコトトシテ國ニ宮作メヨミタラソ  
 サノヲノヤクモツツノ事也  
 一人ノセトナリテハツサノクノミコトノミナ一字  
 ノ方ク用ヨトナリカナ序ニテハコトワリミ  
 ニラシカノハ得天地人ノ事ハフニナリ

〇七  
凡部  
風神の傳方

ハムモ立 伊たな哀余 春明ニ浦  
 折紙は奈 左風原ノ事也  
 夕チ志也 是也 終世凡  
 事の人と たらおの  
 永りのりわ乃 じちあん  
 今とくや じんじり

けり三代宮道撰集し自ラ  
 又入撰集外外ノ事也

〇六  
又部  
吉野ノ山ノ撰事

此集ニサル方見エス撰者シシテ云  
 へカラス其上ノ事ノ書タツタ何ノ方ハ  
 アリ 幸い石之巻アルキコトナリ  
 吉野ノ山ノ撰事 文武天皇吉野山ニ御  
 遊覽ノトキニトモニナリテ人丸  
 白髪ニ色ノチクサニ見エワレニ金カノ  
 モノ撰ナリケリトナリ 又記ナレハ  
 吉野ノ山ノ撰事 文武天皇吉野山ニ御  
 遊覽ノトキニトモニナリテ人丸  
 ノヨソメハトナリ 撰者ニナリ



モノ扱ナリケリトシ又説千九ハ  
雷チウ又ハ雲ト見ルカチヨシノ山を  
ノコソメハトシト相持クハ母死ヤ

五  
三鳥ノ大書

一ヨフトリノ事一説サル一説コ  
トリコノ鳥ハツヤクトマウナリトヘ  
ニトトリ又人ヲモトトリ春ノ  
山野ニチワチワラヒ物持トリ  
アツメテカヒサニカシヨフ故ニカリト  
クヘリ又ツトリトアリコシラ家  
ハトス  
一イナオホセトリノ事一説ノ説  
アトモハハタキツマナリ  
一モ、チトリノ事トシトシトシト  
クヒスニカキラス種ノ春ノオホシ心  
ニサハルツ百子ノトナリ

四  
重大事

御賀玉本  
内侍所  
賀和嫁  
寛政  
妻ノケワリ花  
神童

三  
ツカタニノ本ノ事

ツカタニノ本ノ事一説ノ説ニ  
ニヤアルカニ帝ハ即位ノ内ニカサ  
ノ柄ノ扱ナリ長三寸ニリ又寸ニワ  
リテオホシ守ラ上書ヲ<sup>心業</sup>カセシ  
ラニ<sup>心業</sup>即位ニテ後守ヲ種ノ  
メカフニテ帝ノ世ハ方ノ上ニ  
ナリトモシハ<sup>心業</sup>ノ玉ノ本トナリ  
<sup>心業</sup>ニハ<sup>心業</sup>ニ鳥ヲ付テメテニ見トシト云  
本ナリコシロハナリ文記申シユル  
ハカフストナリ

二  
メトノケワリ花ノ事

メトハ妻アノコトナリ種ノ  
花ヲケワリテツトニカサシサス  
ナリハナリトシトナリ



本ナリこし口はナリ文記申ラユルス  
ハカラストナリ

ミキヤの由  
メトノケリ花ノ事

メトハ妻アノコトナリ種ノ  
花アケワリテツトニカサシサス  
ナリハ似ナリ又曰著ト草ナシ  
又曰古とノ馬場ノヒツリノ目  
ニミノ手健ノカサシサス花ト  
モナリ

ミキヤの由  
カハナクサノ事

ミキヤノ花アリ成ヒトミ  
成カミトリ成カミナ成テモ  
カトシ  
何骨ト申モミハ似ナリ花ト  
免(カラス)

流派不同

- 一 富士ノ山姥ノ事
- 一 妻以テノ事
- 一 おぢノ事
- 一 久及ノ事
- 一 宇津川ノ事
- 一 伊國志
- 一 柳方世ノ事
- 一 久及ノ事
- 一 今ノ事

古今傳文ノ事

法備 讀改 傳文  
以傳 切身 奥書  
他個人伝時後  
しそをわね

- 一 昔文人
- 一 妻ト近上右
- 一 昔古代
- 一 今代
- 一 又及
- 一 今

傳文ノ事

私言  
今重分言東三行常流  
素遣は所方伝文  
結名  
書



三書 古代 一版 一書代  
二版 一書代  
三版 一書代

### 傳文抄

紀氏女流在信  
古今之書 又各三本

宣德書院 中流

抄本 同三本

宣德 宣尋

宣存

宣流

宣紙

私之 千重今言東三行常流  
素遣は所方信文  
寛治元年七月  
宣治元三十一 同四月二  
同四月二十 七月廿九日  
文書又本  
同九年ハサニ 同十月二日  
同廿七通也

三代是信文の信といわゆる  
此行の同才一也  
し我しよふ又あり也

古今集抄同書

信流百家

信吉明抄

玉清信明抄

果多抄

抄下抄

紀母

女内傳

三三抄直

古今集一書

文明三年八月十日相傳信文信字紙一

行又信下平書紙

今命女子

今命女子

今命女子

今命女子

今命女子

八代書家

書抄あり

信流抄

信流抄

信流抄

千重東家切身寸書長九寸下店一尺三寸ハハリ



八代主君の御書

行状物語

いふ所記文信字御書

五印子辰三月廿九日手書御判

千景東家切所寸付 長九寸二卜 店一尺三寸八分

千景

誓古方

情新

詞高

心直

言豊

弘長元年二月九日授書通平

三代権要執事

口内 判

紙付

心直古風 詞高先達ニテラフヘシ

心直古風 詞高先達ニテラフヘシ

心直古風 詞高先達ニテラフヘシ

心直古風 詞高先達ニテラフヘシ

心直古風 詞高先達ニテラフヘシ

心直古風 詞高先達ニテラフヘシ

心直古風 詞高先達ニテラフヘシ

心直

心直古風 詞高先達ニテラフヘシ

心直古風 詞高先達ニテラフヘシ

心直古風 詞高先達ニテラフヘシ

心直古風 詞高先達ニテラフヘシ

心直古風

心直古風 詞高先達ニテラフヘシ

心直古風

心直古風 詞高先達ニテラフヘシ



幸逢  
行氏  
時常  
氏打  
命題  
所氏  
幸明  
向赴  
幸保



勅撰内記の事ト云々  
此書又ハハカリアレン  
ト云々

三鳥重くい河  
姓名原多

口河ノトコロ 庭タキキ  
具々名九い河ナリ

い河ワトリノ事  
ヨフニシトナリ

い河

い河万ノトリノ春ニシハサ  
ワルニヨリテモチドリトナリ  
トモハシヨクカラス

又  
子之河

右 子之河 人 龍淵云々

右 白鳥重くい河 今 苗代

右 白鳥重くい河 今 白鳥重くい河

此集所ハハカリ  
此集所ハハカリ

此集所ハハカリ  
此集所ハハカリ

三鳥重くい河  
姓名原多

三鳥重くい河

三鳥重くい河

三鳥重くい河

三鳥重くい河

三鳥重くい河

三鳥重くい河

三鳥重くい河

三鳥重くい河

三鳥重くい河

三鳥重くい河

三鳥重くい河

三鳥重くい河

三鳥重くい河

三鳥重くい河



帝王

後

同

万

群

い

新

一、  
二、  
三、

長

如

レ

ナ

ナ

三

御

此

ア

物

本

三

有

用

ハ

ニ

三

加

此

ハ

一、  
二、  
三、

一、  
二、  
三、

一、  
二、  
三、

一、  
二、  
三、

一、  
二、  
三、

水



高野のくまの文子のみ易に  
用マト、まゝトトとては夕  
リ  
いほつとノ事しケワリ  
花トけテたは、花ツ松  
ケツリテサシメカリセシ  
ノ所、  
ニツリ、  
し

加和名種

此より、  
ツカラ  
口得加和骨 黄色 重セラ  
ニツリ、  
ひのうたに記

三言

持中 仁氏 水恒 和利  
結丸 小町 伊勢 重徳  
和利 赤子 長凡 二指  
それ 和威  
いふ大所

神道

水原 阿那 宇礼志 今信屋 宇摩志 雄登 余仁  
其居奴 十八喜妙の工 六郎 玄孫 玄孫 玄孫  
切多 和重 二重 三重 四重 五重

八重 水原 二重 三重 四重 五重  
字妙 二重 并々  
切多 二重 并々

化野 一重  
夜、日克水、  
東印、  
凡、

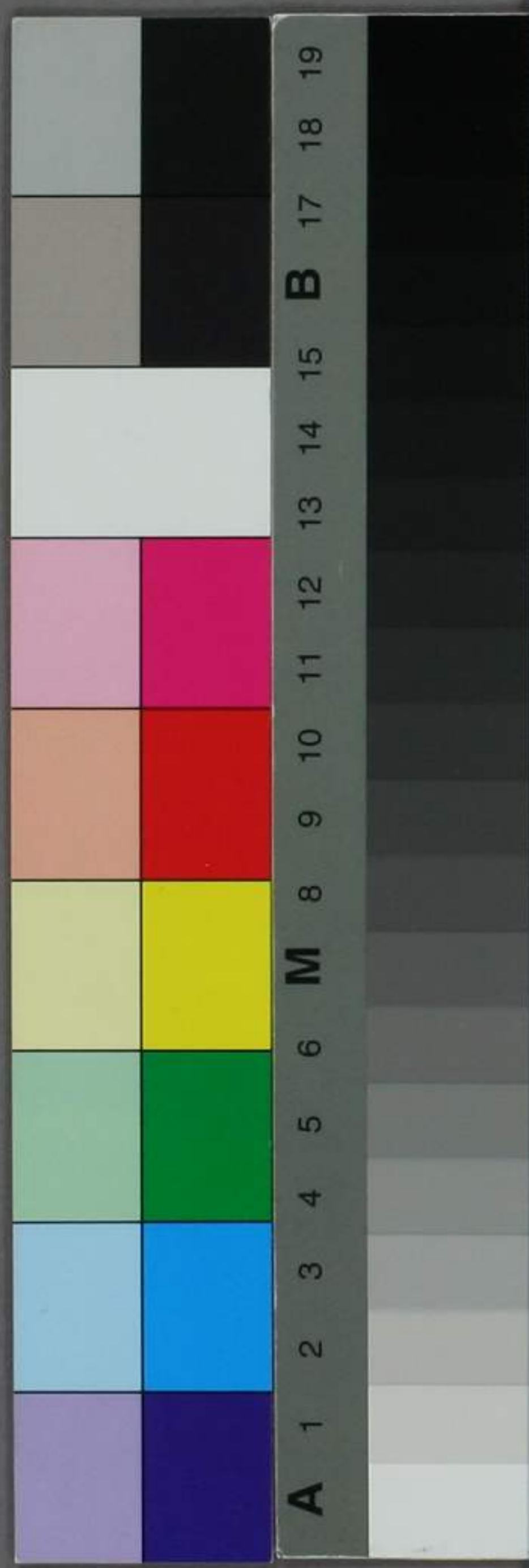
此代、  
一重

此代、  
一重









特別  
へ 2  
4867  
7